

## 0 理念・目的・教育目標

### 進捗状況報告

「具体的な教育目標」(2003年度設定)に関する進捗状況は以下の通りである。①卒業生の就職状況は順調である。②2007年度は、「社会福祉士」資格のための国家試験に40名、同じく「精神保健福祉士」資格のための国家試験に2名が合格している。おおむね堅調である。③「社会調査士」資格(社会調査士認定機構)に関しては43名が授与されている。堅調である。

「より社会の現場に密着した教育への取り組み(企業やNGOへのインターンシップの積極的導入)」に関しては、メディア文化コース、企業ビジネス・情報コースを中心に実務経験者を講師とした現場密着型の教育が導入されている。

なお、2008年4月には社会福祉学科が分離独立し、人間福祉学部として再スタートした。社会学部は2009年度からの抜本的な学部再編(定員増を含む)に向けて着実な準備を進めている。

### 学内第三者評価

理念的目標、具体的目標を的確に設定し、それに基づいて自己点検・評価を行っており、妥当である。「社会福祉士」、「精神保健福祉士」の合格者はおおむね従来通り、「社会調査士」の授与は最近の増加したレベルを維持している。「より社会の現場に密着した教育への取り組み」は実務経験者を講師とした教育の導入によって取り組んでいるのが認められる。2008年4月の社会福祉学科の分離独立と2009年度からの抜本的な学部再編に当たり、学部の理念、目的などに関して再設定が必要かどうか、検討することが望まれる。

なお、学外委員からは以下の意見があった。  
教育目的や教育目標が具体的に設定、明示されており、それを実現するための方向性がはっきりしていることは評価できる。  
実務経験者を講師とする現場密着型教育の導入は前進であると評価できる。「企業やNGOへのインターンシップの積極的導入」について、学生に実際の現場体験を与える意味は大きく、引き続き、その導入に努力されることが期待される。